



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡

TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (株主・投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,829	11.7	281	19.2	284	25.7	183	6.9
2023年3月期第2四半期	3,427	71.0	236	350.2	226	354.0	171	

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 174百万円 (3.3%) 2023年3月期第2四半期 168百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	20.99	
2023年3月期第2四半期	19.63	

(注)当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき普通株式4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	4,510	2,950	65.0	335.21
2023年3月期	4,696	2,886	61.0	327.37

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 2,932百万円 2023年3月期 2,864百万円

(注)当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		60.00	60.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2022年4月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で、また2023年4月1日を効力発生日として、1株につき4株の割合で株式分割を行っております。年間配当金の表記につきましては、2023年3月期は分割前の1株当たり配当金を、2024年3月期(予想)は分割後の1株当たり配当金を記載しております。なお、2022年以降2回の株式分割を考慮しない場合の2023年3月期と2024年3月期(予想)の1株当たり配当金は、期末120円となり、年間配当金は120円となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,053	8.5	680	33.6	682	34.2	455	27.9	52.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2023年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	9,094,832 株	2023年3月期	9,094,832 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	345,748 株	2023年3月期	345,748 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	8,749,084 株	2023年3月期2Q	8,749,137 株

(注)当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14
(重要な後発事象)	14
3. その他	15
(1) 仕入及び販売の状況	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における国内及び海外経済は新型コロナウイルス感染症拡大への警戒が続くも、行動制限緩和も進みました。また最近のインフレ傾向や日用品・消費財における供給ひっ迫は、リユース市場でのニーズの高まりも生じました。

この様にリユース業の市場環境は概ね堅調ではあるものの、個別のジャンル毎に好不調のサイクルに偏りがあり、またインフレ傾向による買取状況の動向判断等、好調な市場環境の継続については予断できない状況にあります。

当社グループはこのような外部環境に対応し、前連結会計年度に引き続き成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的に進めるとともに、リユース市場でのニーズの高まりに応えることで、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業・スピンオフ事業・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長及び前連結会計年度に本格化したインオーガニック面での事業成長を進めました。

営業政策面では、前連結会計年度に引き続き、ネット通販の強化、専門ジャンル強化、高粗利率ジャンル強化による粗利率改善等を進めました。店舗政策面では、2023年6月に、「ワットマンテック・スタイル本厚木店」をオープンいたしました。また、ワットマンタイランドにおいてwarehouse(倉庫)型店舗への集約を進め、2023年2月にWATTMAN Sai3店をオープンし、当第2四半期末時点でタイ王国内の全4店舗すべてwarehouse型となりました。更に、前第3四半期以降、リユース事業セグメントを全社グローバルの観点で効率化するため、グループ企業の物流管理/在庫管理の見直しと改善活動を進めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年と比べ4億1百万円(11.7%)増収の38億29百万円となりました。これは既存事業売上が主にホビーサーチ社の伸長により前年同期と比べ3億52百万円(10.9%)増収の35億97百万円、および新規/撤退事業売上が49百万円(27.0%)増収により2億32百万円となったことによります。

オーガニック事業における商品カテゴリー別売上高は、電化製品等が前年と比べ0百万円(0.1%)減収の4億24百万円、服飾等が44百万円(6.6%)増収の7億20百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が8百万円(2.0%)減収の4億19百万円、ホビーが72百万円(21.0%)増収の4億18百万円、その他は30百万円(8.7%)増収の3億83百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上高は、ホビーが前年と比べ2億62百万円(21.9%)増収の14億62百万円となりました。

売上総利益は、売上増収に伴い前年と比べ1億31百万円(8.0%)増益の17億76百万円、売上総利益率46.4%となりました。既存事業は1億2百万円(6.6%)増益の16億44百万円、新規/撤退事業は29百万円(29.1%)増益の1億31百万円となりました。

オーガニック事業における商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ5百万円(2.0%)増益の2億88百万円、服飾等が50百万円(12.4%)増益の4億54百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が3百万円(1.4%)減益の2億77百万円、ホビーが72百万円(47.1%)増益の2億25百万円、その他は7百万円(2.7%)増益の2億93百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上総利益は、ホビーが前年と比べ47百万円(20.1%)増益の2億83百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、上記新店初期費用等により前年と比べ86百万円(6.1%)増加し14億94百万円となりました。既存事業では30百万円(2.3%)増加し13億35百万円、新規/撤退事業では56百万円(54.5%)増加の1億58百万円となりました。

上記の結果、ワットマンテック・スタイル本厚木店、及びWATTMAN Sai3店の新店初期費用等計上したものの、当第2四半期会計期間以降はリユース事業セグメント及び新品EC事業セグメントが共に伸長し、営業利益は、前年と比べ45百万円(19.2%)増益し2億81百万円となりました。既存事業は71百万円(30.3%)増益の営業利益3億8百万円、新規/撤退事業は26百万円減益の営業損失27百万円となりました。経常利益は前年同期と比べて58百万円(25.7%)増益の2億84百万円となりました。

経常利益以下については、税金等調整前四半期純利益が前年と比べ21百万円(8.1%)増益の2億86百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円(6.9%)増益の1億83百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいてはタイ王国と国内の新店開店と既存店増収により、外部顧客への売上高は前年に比べ1億38百万円増収の23億66百万円(前年比106.2%)、セグメント利益は売上増加により前年に比べ18百万円増益の3億53百万円(前年比105.5%)となりました。

②新品EC事業

新品EC事業においては外部顧客への売上高は前年に比べ2億62百万円増収の14億62百万円(前年比121.9%)、セグメント利益は前年に比べ24百万円増益の93百万円(前年比136.0%)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間から当社内にグループ統括本部を設置しグループ全社の管理活動等の間接業務の集中化、事業活動の全社的最適化等の活動を行っております。それに伴い従来リユースセグメント費用の一部に含まれていた、当該活動に伴う費用を全社費用として報告セグメントからその他に区分を変更しております。詳細はセグメント情報等をご参照ください。

なお、上記記述においては2022年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存事業、その他事業所を新規/撤退事業としております。これに伴い第1四半期連結会計期間よりホビーサーチ社は既存事業に区分されます。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、30億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億39百万円減少しております。

これは、現金及び預金が2億39百万円、売掛金が70百万円減少したこと等が主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円増加しております。

これは、有形固定資産が63百万円増加したこと等が主な要因であります。

この結果、総資産は45億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億86百万円の減少となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、10億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億23百万円減少しております。

これは、買掛金が48百万円、契約負債が77百万円それぞれ減少したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少しております。

これは、長期借入金が55百万円減少した一方、新店開店に伴う資産除去債務が27百万円増加したこと等が主な要因であります。

この結果、負債合計は15億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億50百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、29億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億83百万円計上されたこと、配当金が1億31百万円あったことにより利益剰余金が56百万円増加したこと等が主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が65.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

第3四半期会計期間以降の連結業績に影響する具体的な要因として、消費材のインフレ進行や人件費・原材料費の上昇、新型コロナウイルス感染症対策の行動規制緩和による巣籠り需要から外向きの需要への転換等が考えられます。

これら外部環境に予想を上回る変化が発生した場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,915	1,572,006
売掛金	293,508	223,408
商品	1,048,032	1,154,126
その他	166,921	131,611
流動資産合計	3,320,377	3,081,152
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	122,967	168,858
土地	382,457	382,457
その他(純額)	38,231	56,058
有形固定資産合計	543,656	607,373
無形固定資産		
のれん	246,630	232,123
その他	11,325	10,933
無形固定資産合計	257,955	243,056
投資その他の資産		
投資有価証券	2,002	2,069
敷金及び保証金	413,450	417,332
その他	159,487	159,068
投資その他の資産合計	574,941	578,469
固定資産合計	1,376,553	1,428,900
資産合計	4,696,930	4,510,052
負債の部		
流動負債		
買掛金	350,009	301,400
短期借入金	76,000	81,400
1年内返済予定の長期借入金	120,026	105,820
未払法人税等	137,917	122,610
賞与引当金	35,649	36,555
契約負債	202,714	124,838
その他	400,940	327,044
流動負債合計	1,323,256	1,099,669
固定負債		
長期借入金	434,272	379,036
退職給付に係る負債	40,459	43,170
資産除去債務	—	27,252
その他	12,065	10,295
固定負債合計	486,796	459,753
負債合計	1,810,053	1,559,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,415,414	1,432,431
利益剰余金	1,147,413	1,203,534
自己株式	△101,468	△101,468
株主資本合計	2,961,359	3,034,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574	621
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△1,978	△6,599
その他の包括利益累計額合計	△97,129	△101,704
非支配株主持分	22,647	17,836
純資産合計	2,886,876	2,950,629
負債純資産合計	4,696,930	4,510,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,427,939	3,829,457
売上原価	1,783,750	2,053,342
売上総利益	1,644,189	1,776,115
販売費及び一般管理費	1,408,004	1,494,519
営業利益	236,185	281,595
営業外収益		
受取利息	213	190
受取配当金	78	50
受取手数料	4,671	5,100
受取解決金	3,238	-
その他	1,485	1,713
営業外収益合計	9,686	7,054
営業外費用		
支払利息	2,212	2,664
長期前払費用償却	2,188	-
為替差損	14,433	912
その他	269	112
営業外費用合計	19,103	3,689
経常利益	226,768	284,960
特別利益		
保険差益	94	36
投資有価証券売却益	1,514	-
受取補償金	45,512	-
固定資産売却益	-	2,867
特別利益合計	47,121	2,903
特別損失		
投資有価証券売却損	49	-
固定資産除却損	2,319	1,165
減損損失	1,515	289
店舗閉鎖損失	5,036	-
特別損失合計	8,920	1,454
税金等調整前四半期純利益	264,968	286,409
法人税等	93,186	102,694
四半期純利益	171,781	183,715
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,781	183,715

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	171,781	183,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△337	46
為替換算調整勘定	△2,696	△9,432
その他の包括利益合計	△3,034	△9,385
四半期包括利益	168,747	174,329
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,122	179,140
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,375	△4,810

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,968	286,409
減価償却費	27,158	25,337
のれん償却額	14,507	14,507
長期前払費用償却額	2,113	1,868
差入保証金償却額	1,679	1,407
株式報酬費用	17,016	17,016
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,507	906
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,414	2,711
受取利息及び受取配当金	△291	△241
支払利息	2,212	2,664
為替差損益 (△は益)	△455	△630
有形固定資産売却損益 (△は益)	2,319	△1,702
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,465	-
受取補償金	△45,512	-
減損損失	1,515	289
店舗閉鎖損失	5,036	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△10,802	70,099
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△88,916	△103,471
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,492	△49,061
未払費用の増減額 (△は減少)	32,292	△17,903
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,722	△34,189
その他	3,767	△58,736
小計	274,282	157,282
利息及び配当金の受取額	86	241
利息の支払額	△2,352	△2,438
法人税等の支払額	△34,584	△119,126
補償金受取額	36,000	-
店舗閉鎖損失の支払額	△19,426	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	254,004	35,959
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,432	△66,890
有形固定資産の売却による収入	-	5,033
無形固定資産の取得による支出	△669	△2,245
投資有価証券の売却による収入	2,829	-
敷金及び保証金の差入による支出	△17,352	△5,440
敷金及び保証金の回収による収入	25,954	1,525
預り保証金の返還による支出	△79,468	-
長期前払費用の取得による支出	△6,232	-
その他	△15	△1,612
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,386	△69,629

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△71,890	△69,176
自己株式の取得による支出	△78	-
配当金の支払額	△87,438	△131,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△159,406	△200,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,861	△6,057
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,072	△239,908
現金及び現金同等物の期首残高	1,494,746	1,811,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,506,819	1,572,006

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,228,047	1,199,892	3,427,939	—	3,427,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,228,047	1,199,892	3,427,939	—	3,427,939
セグメント利益	334,751	68,768	403,519	—	403,519

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	403,519
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△167,334
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	236,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結累計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「リユース事業」単一セグメントから、「リユース事業」「新品EC事業」に変更しております。

(報告セグメントに属する主要な製品及びサービス)

「リユース事業」セグメントに区分される事業は、従前同様にリユース商品中心の国内2都県及びタイ王国の店舗販売及びネット販売事業です。

「新品EC事業」セグメントに区分される事業は、新品商品中心の自社ECサイト販売事業です。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,366,667	1,462,790	3,829,457	—	3,829,457
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,628	3,628	—	3,628
計	2,366,667	1,466,418	3,833,085	—	3,833,085
セグメント利益	353,268	93,522	446,790	—	446,790

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	446,790
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	△480
全社費用(注)	△164,714
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	281,595

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結累計期間より、当社内に「グループ統括本部」を設置し管理活動等の間接業務の集中化、事業活動の全社的最適化等の活動を行っております。それに伴い事業セグメントの区分方法を見直し、従来リユースセグメント費用の一部に含まれていた、当該活動に伴う費用を全社費用として報告セグメントからその他に区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

また、従来の「リユース事業」「新品EC事業」セグメントに属する主要な製品及びサービスに変更はありません。

(収益認識関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	844,674	—	—	844,674
ワットマンテック業態	503,668	—	—	503,668
ブックオフ業態	432,587	—	—	432,587
ホビー関連業態	240,701	1,199,892	—	1,440,593
カウマン業態	33,728	—	—	33,728
Warehouse Store(タイ)	85,064	—	—	85,064
その他	87,623	—	—	87,623
顧客との契約から生じる収益	2,228,047	1,199,892	—	3,427,939
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,228,047	1,199,892	—	3,427,939

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	910,582	—	—	910,582
ワットマンテック業態	522,418	—	—	522,418
ブックオフ業態	456,161	—	—	456,161
ホビー関連業態	260,712	1,462,790	—	1,723,502
カウマン業態	31,518	—	—	31,518
Warehouse Store(タイ)	74,333	—	—	74,333
その他	110,942	—	—	110,942
顧客との契約から生じる収益	2,366,667	1,462,790	—	3,829,457
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,366,667	1,462,790	—	3,829,457

(重要な後発事象)

該当事項はありません

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	156,448	15.7	111.1
	服飾等	281,671	28.3	103.6
	パッケージメディア	141,300	14.2	95.5
	ホビー	324,386	32.6	142.7
	その他	89,976	9.2	115.3
合計		993,783	100.0	114.7
ホビーサーチ	ホビー	1,163,930	100.0	115.6
合計		1,163,930	100.0	115.6
総合計		2,157,713	—	115.2

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	424,411	17.9	99.9
	服飾等	720,058	30.4	106.6
	パッケージメディア	419,860	17.7	98.0
	ホビー	418,813	17.7	121.0
	その他	383,523	16.3	108.7
合計		2,366,667	100.0	106.2
ホビーサーチ	ホビー	1,462,790	100.0	121.9
合計		1,462,790	100.0	121.9
総合計		3,829,457	—	111.7

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。